

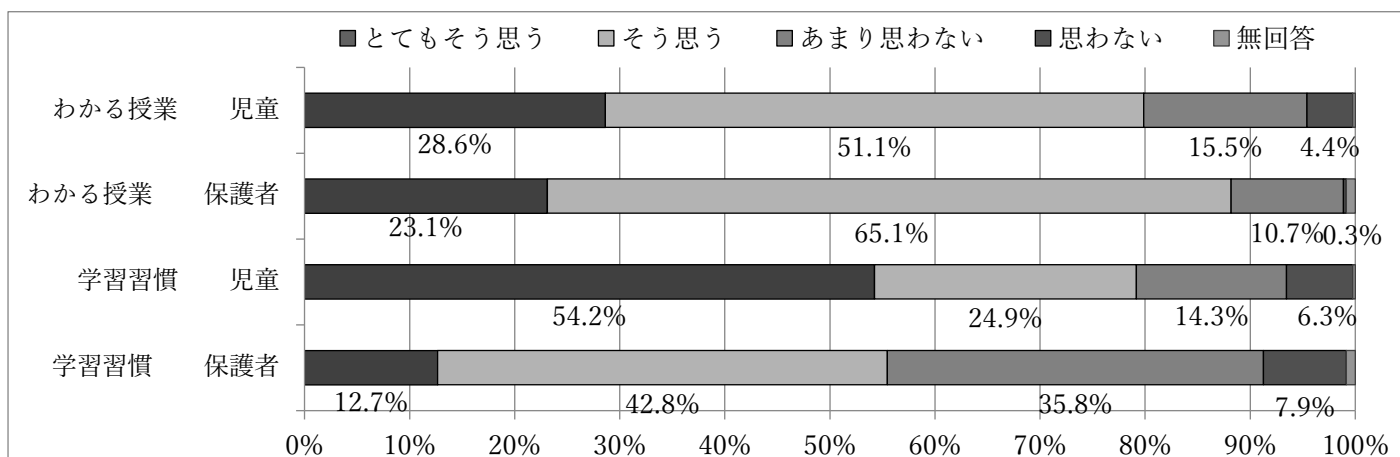
令和元年度 学校評価アンケート・児童アンケートのまとめ

亀岡市立大井小学校

過日、実施いたしました「学校評価保護者アンケート」では、お忙しい中、約85%の保護者の皆様よりご意見をいただきました。本当にありがとうございました。

学校評価アンケートの結果を分析することを通して、来年度に向けた課題点を明らかにし、大井小学校の教育を一層充実させていきたいと、教職員一同気持ち新たにしております。ご協力ありがとうございました。以下の通り、分析結果をまとめました。

わかる授業	児童	学校の勉強は、わかりやすい。
	保護者	学校は、学習内容が理解できるように授業の工夫をしている。
学習習慣	児童	わたしは、宿題をわすれずにやっている。
	保護者	お子さんは、進んで家庭学習を行うことができている。

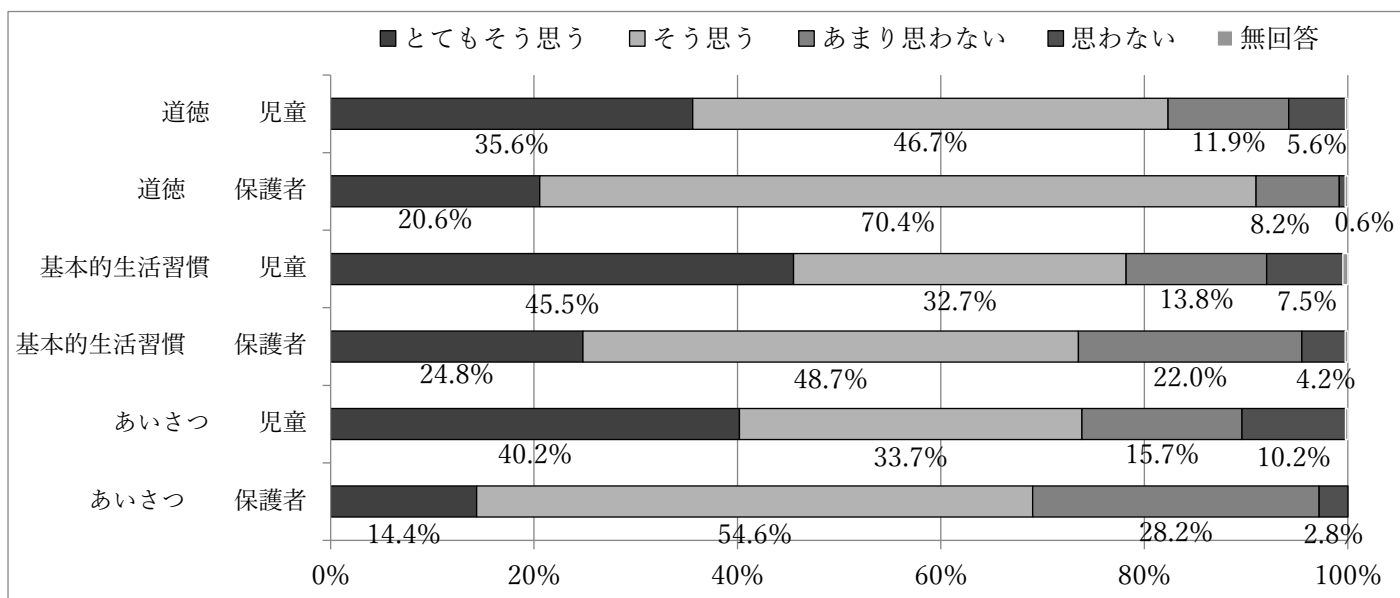


学習に関する項目「わかる授業」では児童、保護者ともに、多くの肯定的な意見をいただきました。本校は、学力テストから見ても、基礎的・基本的な学習は定着しつつあるものの、表現したり説明したりすることが十分に身に付いていない実態が見られています。そこで、今年度も授業の中で自分の意見を述べたり友達の意見を聞いて考えたりする授業やグループ活動を行うことで、授業の中で自分の考えを表現する時間を多く取るようにしてきました。今後も、学びを活かすための思考力や判断力を高める授業の在り方を考えていき、児童自らが進んで学びに向かっているような授業作りを目指したいと思います。また、20%もの児童が学習へのつまずきを感じていることから、基礎的な学習を繰り返し行ったり具体物を用いたりして、「わかる」「楽しい」「できた」と思える授業作りを進めていきたいと思います。

「学習習慣」の項目では、40%をこえる保護者から「進んで宿題をしていない」との回答をいただきました。お家で声を掛けてもらってから宿題に取り組んでいる児童も多くいることがこのアンケート結果からも分かります。復習をすることで学習の定着が図れるため宿題は大切な時間だと考えます。遊びの時間、テレビの視聴、スマホやゲーム等の使用の仕方を見直すことを通して、家庭学習をする時間を確保し、学習習慣が身に付いていけるよう、ご家庭と連携を取りながら学校でも今後も指導していきたいと思っております。

引き続き、ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

道徳	児童	わたしは、学校で学んだ思いやりの心をもって行動したり、社会のマナーやルールを守ろうとしたりしている。
	保護者	学校は、思いやりの心、社会のマナーやルールを守る態度を育てている。
基本的生活習慣	児童	わたしは、早寝・早起きをして、朝ごはんを食べて登校している。
	保護者	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身につけている。
あいさつ	児童	わたしは、進んであいさつをしている。
	保護者	お子さんは、進んであいさつをしている。

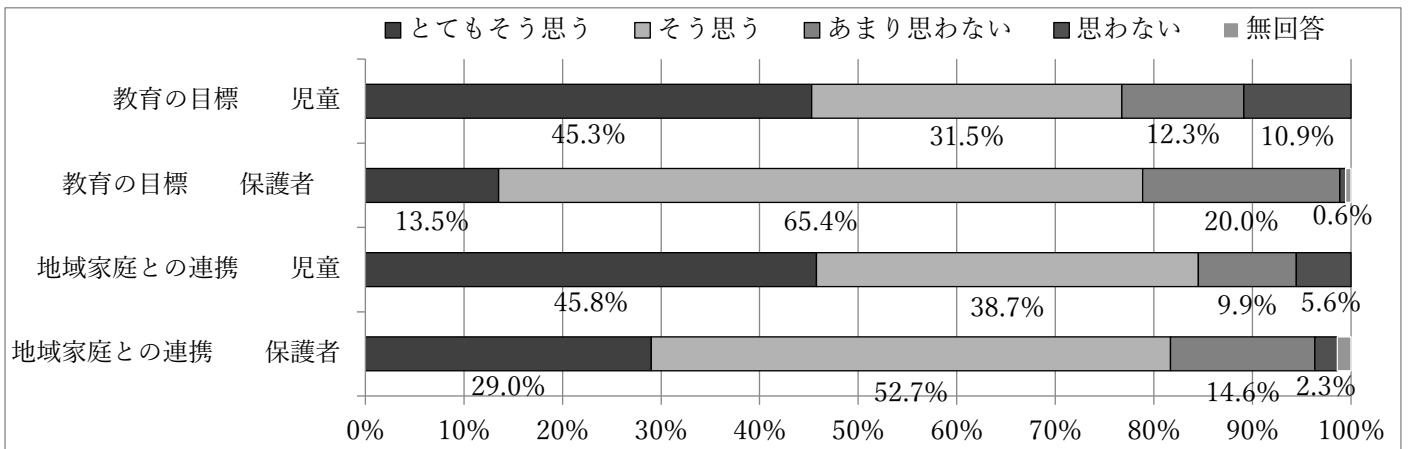


「道徳」の項目について、児童・保護者ともに昨年度に比べて高い評価をいただきました。本校では、異年齢で構成されたフレンドリー活動、登校班、委員会活動やクラブ活動等、さまざまな学習や活動において学年をこえた関わりの場面を多く取り入れています。そういった活動の中で優しくされた経験が活かされ、次は自分が誰かに優しくするといった優しさの輪が広がっています。今後も特別な教科「道徳」の授業の充実を図ると共に、児童の温かい行動をより一層見つめていき、思いやりの心やマナー・ルールを守る心を育てていきたいと思ひます。

「基本的生活習慣」と「あいさつ」では70%～80%の肯定的な意見をいただきました。本校では、学期に1回生活点検を行い、自身が規則正しい生活を送れているか、また、名札をつけることやあいさつをすることなどについても点検し、自身の生活習慣を見つめ直す機会を持っています。他にも、児童会や委員会の取組としてあいさつ運動も行われていました。しかし、毎朝の児童の様子を見ていると、特に月曜日は下を向きがちであいさつにも元気が見られません。木曜日頃になると元気な「おはようございます」の声が聞こえてきます。このように休み明けはどうしても生活リズムが崩れがちになるようです。寝る時刻や起きる時刻の意識化を図り、基本的な生活習慣を身に付けていけるよう、ご家庭の協力を得ながら、学校でも指導していきたいと思ひます。



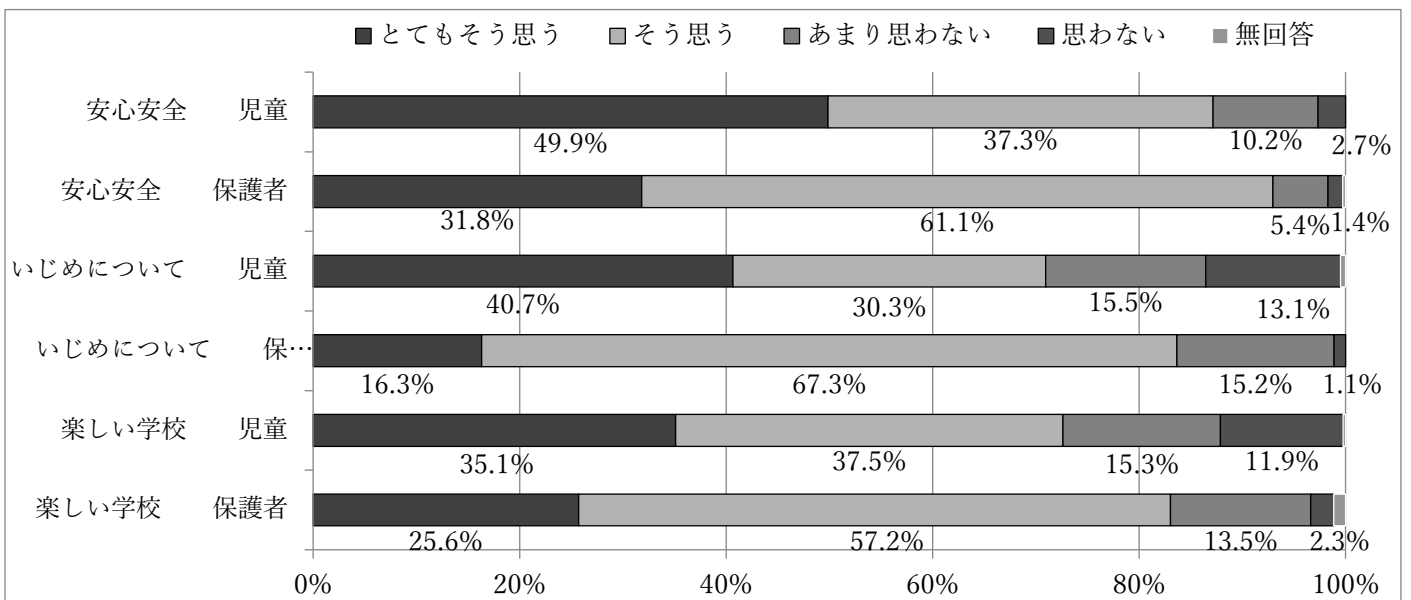
教育の目標	児童	わたしは、学級(学年)の目標を知っている。
	保護者	学校の教育方針は、わかりやすい。
地域家庭との連携	児童	先生は、学校の様子を学校便りや学年・学級通信などで、家の人にわかりやすくつたえてくれている。
	保護者	学校は、学校や子ども達の様子等の情報を家庭に知らせるよう努めている。



「教育の目標」など目指すところを明確にすることで教育効果が高まります。児童と教師、そして地域家庭と学校とがともに目指すところを共有し協働していけるよう、今後も方針を明確化させていきたいと思えます。

「地域家庭との連携」では保護者から80%を超える肯定的なご意見をいただきました。しかし中には「子どもが話をしないのでクラスの様子を知りたい」などのご意見もありました。通信や懇談、時には電話連絡等で今後もできる限り児童の様子をお伝えしていけるよう心がけていきたいと思えます。

安心安全	児童	わたしは、避難訓練や交通教室に真剣に取り組んでいる。
	保護者	学校は、子どもの安全を考えた指導や訓練を行っている。
いじめ	児童	わたしは、いじめなどを心配せず、学校で安心して生活している。
	保護者	学校はいじめのない学級づくりに取り組んでいる。
楽しい学校	児童	わたしは、学校に来るのがたのしい。
	保護者	お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。



「安心安全」の項目は大変多くの肯定的なご意見をいただきました。特に保護者からは90%を超える肯定的なご意見をいただき、より一層安心安全な学校作りに努めていかなければと感じています。しかし一方で、「いじめについて」や「楽しい学校」では、20%を超える児童が不安を抱えていることが結果から見えてきました。今後も、授業の工夫をしたり、クラス遊びや学級活動の時間における仲間作りや特別な教科「道徳」の時間で仲間とのつながりや相手を思いやる気持ちを育てたりするなど、さまざまな学習や活動を通して、楽しい学校作りをすすめていきたいと思っております。同時に、全教員で目を配り耳を傾け、学校が児童にとって安心な場であるよう努めていきます。

アンケートの記述欄には貴重なご意見を多数寄せていただきました。感謝申し上げます。

今回のアンケートの考察を通して、今後も子どもたちの現状をしっかりと見据えながら、より一層我々教師が協働して子ども達の教育にあたっていかなければと考えております。

と同時に、記述欄には、学校で再考し今後取り組むべきことや、中には教育委員会との連携や、地域・家庭のご協力がなければ改善に至らないこともありました。特に現代は、社会の変化が激しく、価値観が多様化しています。だからこそ、学校と保護者、地域がしっかりと手を携え、安心して包み込まれているという感覚を実感できる環境で子ども達を育てていきたいと考えています。

そのためにも、これからの教育活動の中で、本校の課題として挙げていただいた「連携」をより一層強くし、子ども達にとってより良い学校生活や社会生活につながるよう努力していきます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様方からいただいたご意見をもとにして、今年度のまとめをして改善できるところから取り組んでいくとともに、来年度の学校運営をさらに充実したものにしていきたいと考えております。

ご協力ありがとうございました。

